レジメン名（治療名）
FEC 療法（フルオロウラシル＋エピルビシン＋シクロホスファミド）

癌腫	レジメン（略語）	実施区分	抗がん剤適応区分	
乳癌	FEC 療法	■入院 ■外来	■進行・再発 ■術後補助化学療法 ■術前補助化学療法	□大量化学療法 □局所化学療法 □その他

投与順	抗がん剤名 （商品名・略称）	1 日投与量	投与経路	投与時間	投与日 （day1、8 等）
1	エピルビシン【EPI】	60-100mg/㎡	点滴静注	30 分	Day1
2	シクロホスファミド【CPA】	500mg/㎡	点滴静注	60 分	Day1
3	フルオロウラシル【5FU】	500mg/㎡	点滴静注	30 分	Day1

1 コースの期間 （次コースまでの標準期間）	3 週間ごと
総コース数及び総投与量の限界	術前後補助化学療法：4 コース エピルビシンの総投与量 900mg/㎡まで投与可能。過去にアンスラサイクリン系抗がん剤投与歴がある場合は、その投与量も含める。
プレメディケーション ポストメディケーション	5HT3 拮抗薬、デキサメタゾン（day1～4)、アプレピタント
備考	エピルビシンは壊死性抗がん剤に該当するため、血管外漏出注意。 エピルビシン 100mg/㎡で投与している場合は、Peg-GCSF を投与

≪投与順≫

（１）生理食塩液 100mL
　　デキサメタゾン 8mg 1V
　　パロノセトロン 0.75mg 1V 30 分

（２）生理食塩液 100mL
　　エピルビシン 60-100mg/㎡ 30 分

（３）生理食塩液 100mL
　　シクロホスファミド 500mg/㎡ 60 分

（４）生理食塩液 100mL
　　フルオロウラシル 500mg/㎡ 30 分

（５）生理食塩液 50mL 10 分

内服制吐剤

アプレピタント　125mg　1Cap 分 1　　1 日分

アプレピタント　80mg　1Cap 分 1　　2 日分

デキサメタゾン 0.5 ㎎　8 錠分 2（朝昼食後）　3 日分